

科学技術の潮流

198

JST研究開発戦略センター

巨額投資

近年、世界で巨額の研究開発投資が相次いでいる。背景として、

は、米中摩擦に端を発する科学技術・イノベーション創出の国際競争に加え、気候変動などグローバル課題への対処や、半導体供給網に代表される産業基盤の強化が各国の優先課題となっていることが挙げられる。

また、新型コロナウイルス感染症の大流行やロシアのウクライナ侵攻など不安定な国際情勢により、医療、エ

さらには先端エレクトロニクス、人工知能(AI)、量子などの重要技術の優位性を確保しようとする姿勢を

生分野でも同様の機関を創設する動きが欧米各国で広がっている。また、社会にインパクトをもたらす技術の開

エネルギー、食料など多様な安全保障課題が顕在化したことも、これらに拍車をかけている。一方で、各国グループの存在感も高まっている。

発に取り組む、データを取り組む、スタートアップの振興に向けた官民の投資も、世界中で活発化している。

研究開発を俯瞰する ①

このような中、各国の国防高等研究計画局(DARPA)が典型として知られるが、民

エコシステム

科技イノベ 各国が推進策

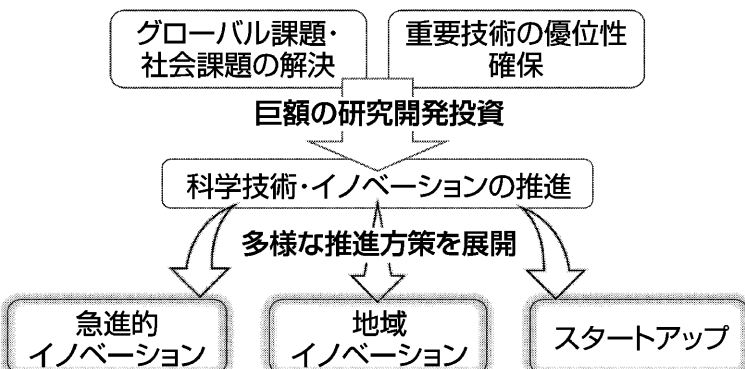


科学技術振興機構(JST) 研究開発戦略センターフェロー(海外動向ユニット)

長谷川 貴之

JST入職後、地域事業、情報事業、国際事業、日本学術振興会出向などを経て、18年より現職。米国の科学技術政策動向調査を担当。

科学技術・イノベーション創出のための推進方策例



JST研究開発センター「研究開発の俯瞰報告書 科学技術・イノベーション政策の国際動向(2023年)」(2023年3月)を参考に作成
<https://www.jst.go.jp/crds/report/CRDS-FY2022-FR-02.html>

自国内の諸地域に、人・イノベーション機構の構築を目指す。米国(DARPA)は、これまでに地域産業の人材需要にこたえてきた中規模大学を中核に、地域イノベーションシステム

(金曜日に掲載)